

認定事業再編計画の実施状況の概要

1. 認定した年月日 平成30年3月28日
2. 認定事業者名 メビウスパッケージング株式会社
3. 事業再編の実施期間 平成30年4月～令和3年（平成33年）3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

(1) 事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

(事業の構造の変更)

本計画では、東洋製罐グループはグループ企業3社（東洋製罐株式会社、東罐興業株式会社及び日本クロージャー株式会社）で重複している非飲料用を中心としたプラスチックボトル及びキャップ事業の製造、販売開発等について、経営資源を集中させて統合する事で重複を解消し、新たに強固な事業基盤の構築を目指して、平成30年4月1日、メビウスパッケージング株式会社を承継会社とする、無対価吸収分割を行った。

この事業再編によって組織階層をシンプルにした事で、経営陣、従業員の距離が縮まり意志決定が迅速となった。加えて営業部門と技術部門が同一機能で一体となり、市場に近い活動を行うことで、新型コロナウイルスや環境問題といっためまぐるしい外部環境の変化の中でも競争力を維持・向上することができた。

(前向きな取組)

新機能を有したキャップの製造、販売を開始した。具体的には、使用開始（開栓）時のアクションが1回で済み、且つ使用後にボトルと中栓を分離させやすい(廃棄時の環境対応)機能を付加した。令和2年度には新たな製品にも採用された。当該製品の売上高は、この新たなキャップが通年寄与した場合、売上高全体の2.0%となり、当社の売上、収益にも貢献した。

(2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、有形固定資産回転率を令和2年度は平成28年度と比べて5.5%向上させることを目標としていたところ、実際には71.7%向上した。財務健全性の指標である有利子負債／CFも▲3.5倍となり、基準である10倍以内に収まっている。また経常収支比率も117.3%と基準の100%を上回る結果となった。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

東洋製罐（株）	計画	3,424人	実績	3,349人
東罐興業（株）	計画	1,369人	実績	1,393人
日本クロージャー（株）	計画	976人	実績	976人
メビウスパッケージング（株）	計画	1人	実績	1人

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

東洋製罐（株）	計画	2,953人	実績	2,672人
東罐興業（株）	計画	1,127人	実績	1,058人
日本クロージャー（株）	計画	1,001人	実績	1,109人
メビウスパッケージング（株）	計画	787人	実績	771人

(3) 事業再編に充てた従業員数 (令和3年3月末実績)

東洋製罐 (株)	計画	2,953人	実績	2,672人
東罐興業 (株)	計画	1,127人	実績	1,058人
日本クロージャ (株)	計画	1,001人	実績	1,109人
メビウスパッケージング (株)	計画	787人	実績	771人

(4) (3) 中、新規採用された従業員数 (令和3年3月末までの実績)

東洋製罐 (株)	計画	130人	実績	126人
東罐興業 (株)	計画	60人	実績	26人
日本クロージャ (株)	計画	43人	実績	93人

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数 (令和2年3月末までの実績)

出向人員数	計画	867人	実績	830人
転籍人員数	計画	0人	実績	1人
解雇人員数	計画	0人	実績	2人

以上